

株主のみなさまへ

第66期 営業のご報告

2011年4月1日～2012年3月31日

おいしさとやすらぎを

 **ハウス食品**

HOUSE

FOODS

REPORT



株主のみなさまには日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2012年3月期の事業の概況をご報告させていただきますので、ご高覧賜りますようお願い申し上げます。

海外事業は順調に拡大したものの、デフレ環境下における国内市場の低迷などにより、微減収となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災後の混乱の中に幕を開け、復興問題、電力問題、歴史的な円高、欧州債務危機といった産業全般に影響を及ぼすような根幹的な与件に直面し、非常に変動要素の大きい不透明な状況が続いております。また、内需産業においては、原材料価格が上昇する一方で、震災後の特需が一巡した後はデフレが再燃したことから、川上と川下の双方に課題を抱える環境下に至っております。

当社グループにとって、当連結会計年度は「新しい需要の創造」と「グループ総合力の向上」をテーマとする第三次中期計画の最終年度にあたり、このような経営環境の下で節目を迎えることになりました。

売上面におきましては、国内において期初には震災後の買い置き需要はあったものの、一巡後にはデフレ環境下で厳しい企業運営を迫られました。また、「ウコンの力」シリーズが震災後の自粛ムードによる市場低迷などの影響を受けた

ほか、前期5月にミネラルウォーター事業を売却したことなどから、海外事業においては進出各エリアとも事業拡大を果たせたものの、当連結会計年度の連結売上高は2,143億17百万円と前期比1.1%の減収となりました。

原材料価格が上昇したものの、のれん償却負担の減少やグループ会社の収益向上などにより、大幅な増益となりました。

一方利益面では、原材料価格の上昇や「ウコンの力」シリーズの減収による影響がありましたが、ハウスウェルネスフーズ㈱取得時ののれん償却負担の減少やグループ会社の収益向上、コストダウンの取組を進めたことなどから、連結営業利益は140億53百万円、前期比16.4%の増益、連結経常利益は155億2百万円、前期比19.0%の増益、連結当期純利益は79億28百万円、前期比51.0%の増益となりました。

期末配当は1株当たり4円増配の15円、年間では6円増配の28円とさせていただきました。

当社グループは、株主のみなさまへの利益還元を経営上重要なテーマの一つと位置づけ、収益性の向上と財務体質の強化に努めるとともに、業績・事業計画などを総合的に勘案し、連結配当性向30%以上を基準とした安定的な配当を継続することを基本方針としております。

同基準も勘案し、当期末の配当金につきましては、1株当たり15円（前期末比+4円）とし、中間配当金の13円（前中間期末比+2円）とあわせまして、年間計28円（前期比+6円）とさせていただきました。

本年4月よりスタートした第四次中期計画を着実に推進し、収益力の強化と成長性の確保に努めてまいります。

2013年3月期においては、前期に引き続いて国内市場の縮小や原材料価格の上昇が予想されるなど、当社グループを取り巻く環境は依然厳しいものがあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、本年4月より第四次中期計画のスタートを切り、「海外展開の加速」「成長・拡大していくための最適な組織体制の構築」「開発力・コスト競争力の強化推進」に向けた取組を着実に推進してまいります。

第四次中期計画の初年度である2013年3月期の業績につきましては、連結売上高は2,180億円（前期比1.7%増）、連結営業利益は148億円（前期比5.3%増）、連結経常利益は162億円（前期比4.5%増）、連結当期純利益は104億円（前期比31.2%増）を予定しております。

何卒株主のみなさまにおかれましては、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



取締役社長 浦上 博史

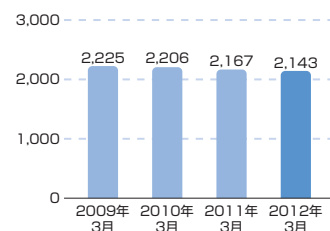
企業理念

食を通じて、
家庭の幸せに役立つ

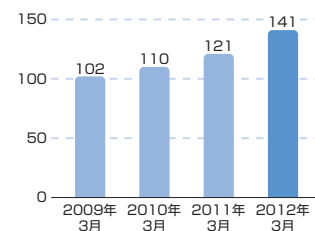
コーポレートメッセージ

おいしさやすらぎを

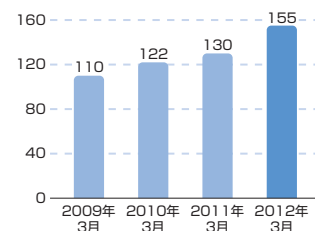
連結売上高



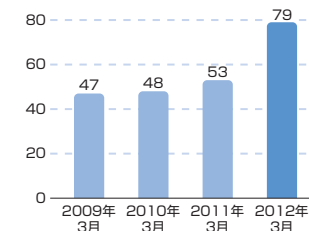
連結営業利益



連結経常利益



連結当期純利益

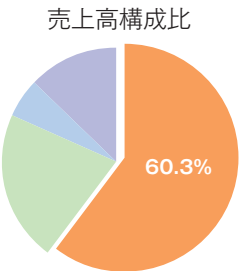


[単位：億円]

香辛・調味加工食品事業

香辛・調味加工食品事業は、震災の影響による内食回帰傾向のなか、ラーメン、スパイス、レトルト、デザート製品が売上を着実に伸ばしたことに加え、取引先開拓により業務用製品が好調に推移しました。一方、年度後半のデフレ傾向のなか、低価格帯製品との競合がみられた一部ルウカレーおよびルウシチュー製品が苦戦を強いられたことから、売上高は1,292億47百万円、前期比0.5%の増収にとどまりました。

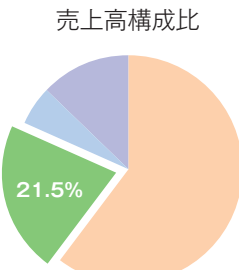
一方利益面につきましては、継続的なコスト競争力強化に努めたものの、原材料価格上昇の影響を大きく受けたこと、売価下落への対応で拡売費が上昇したことなどから、営業利益は99億33百万円、前期比13.9%の減益となりました。



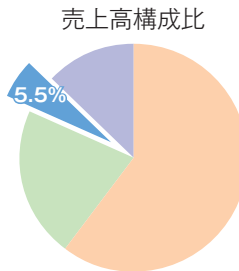
健康食品事業

当社で行う健康食品事業は、主力の「ウコンの力」シリーズが震災後の自粛ムードによる市場低迷に加え、お客さまのお酒への接し方に変化がみられたことや競合製品の新発売などにより、前年実績を確保することはできませんでした。グループ会社のハウスウェルネスフーズ㈱も受注生産品の採算改善の取組を行った結果減収となり、健康食品事業トータルの売上高は459億92百万円、前期比7.3%の減収となりました。

一方利益面につきましては、ハウスウェルネスフーズ㈱株式取得時ののれん償却負担が大きく減少したことから、営業利益は25億32百万円、前期比23億32百万円の増益となりました。



海外事業



海外事業は進出各エリアで事業拡大および収益基盤強化を進めることができました。米国の大豆事業は、大豆価格の高騰を吸収するべく前年6月に実施しました主力製品の価格改定が市場に問題なく受け入れられたほか、積極的なマーケティング活動も奏功し、増収増益となりました。

中国の加工食品事業は、レトルト製品が目標を下回りましたが、ルウ製品では家庭用製品の販売促進活動に注力したことや業務用製品の取扱ルート拡大に努めた結果、全体では増収となり、黒字化には至らないものの損益も改善傾向にあります。

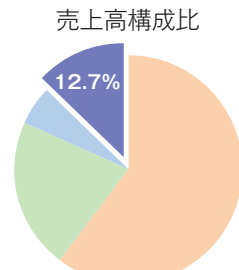
レストラン事業は、アジアで進出している中国・台湾・韓国の各エリアとも、お客さまから高いご支持をいただき、店舗数も拡大することができましたことから、売上・利益とも大幅に伸長いたしました。

以上の結果、海外事業の売上高は117億62百万円、前期比11.8%の増収、営業利益は6億51百万円、前期比86.1%の増益となりました。



運送事業他

グループ会社ハウス物流サービス㈱の運送・倉庫事業は、グループ外企業の物流業務受託が引き続き拡大しましたことなどから、前年実績を大きく上回りました。



しかしながら、当セグメントに含めておりました当社のミネラルウォーター事業を前期に事業譲渡いたしましたことから、運送事業他の売上高は273億15百万円、前期比2.4%の減収となりました。営業利益は、グループ会社の収益改善の取組が進んだことなどから、9億35百万円の黒字（前期は営業損失16百万円）を確保いたしました。



○事業セグメント別 連結売上高・連結営業利益

単位:百万円		
事業セグメント	連結売上高	連結営業利益
香辛・調味加工食品事業	129,247 (100.5)	9,933 (86.1)
健康食品事業	45,992 (92.7)	2,532 (1,269.6)
海外事業	11,762 (111.8)	651 (186.1)
運送事業他	27,315 (97.6)	935 (△16※)

()内は前期比% ※前期実績

『ハウスオソサファフーズ(株)』設立

成長著しいタイにおいて、加工食品や健康飲料の事業展開を図るため、創業120年を迎える現地法人のオソサファ社と合併会社を設立しました。

●設立2011年7月 ●資本金167百万バーツ(当社60% オソサファ社40%)

「なるほどレシピ」をホームページに開設

調理の過程でムリ・ムダを省き、賢く工夫する「スマートクッキング」として、調理時の工夫をまとめた約200の「なるほどレシピ」を、お客さまに情報発信しております。

「温めずにおいしいカレー」新製品

加熱調理せずに食べられる、さらとなめらかで、香り高いレトルトカレー



東大阪工場 85年の歴史に幕

1926年の操業開始以来長きにわたり、カレーやスパイスなどさまざまな製品を生産してきた東大阪工場が、11月28日、85年間の歴史に幕を閉じました。東大阪工場の生産機能は、奈良工場とグループ会社ハウスあいファクトリー(株)に移設されました。

※なお、東大阪工場跡地に大阪本社新社屋の建設を計画しております。



1962年当時の東大阪工場

「ポピュラースパイス」フレッシュアップ

新製法・新容器を採用し、香り高く深みのある色合いに仕上げ、使いやすさを向上



「釜玉すば」新製品

茹でたパスタに生卵を混ぜるだけで濃厚な風味が楽しめる、釜玉うどん風のスパゲティの素



「カフェカレ」新製品

カフェの味わいを手軽にご家庭で楽しめる、さらっと食べやすいアジアンカレーの素



「フローズンフルーツ」新製品

凍らせてから、牛乳を加えて混ぜて作る、シャリシャリ感のあるフローズンタイプのフルーツ

夏期限定



2011年

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

2012年

1月

2月

3月

『ハウス食品(上海)商貿(有)』設立

中国において、当社グループ製品をより多くのお客さまにお届けするため、主体的に販売活動を行うことを目的として販売会社を設立しました。

●設立2011年4月 ●資本金1.5百万米ドル(当社100%)

「ねりスパイス」シリーズが経済産業大臣賞 受賞

(社)日本包装技術協会主催「2011日本パッケージコンテスト」で、当社の「ねりスパイス」シリーズが、使い勝手や環境に配慮した包材設計が高く評価され、経済産業大臣賞を受賞しました。

食と農と環境の体験教室

食の原点である農業を通じて、お子さまを中心にご家族で食や自然環境の大切さについて学んでいただく年4~6回の継続型の教室です。2009年から実施しており、2011年は全国8カ所で開催しました。



ハウスファミリーウォーク

ウォーキングを通じて、心と体の健康を促進する活動に取り組んでいます。日本ウォーキング協会と地元ウォーキング協会の協力を得て、2011年は全国13カ所で開催しました。参加者のみなさまには、風光明媚なコースを楽しみながら、健康の大切さを感じていただきました。



「ザ・ホテル・カレー」新発売

伝統あるホテルのレストランで食べるような贅沢な味わいのレトルトタイプのビーフカレー



『ハウスフーズベトナム(有)』設立

成長著しいベトナムにおいて、当社の技術力を活用した加工食品などの展開を図るため、新会社を設立しました。

●設立2012年1月 ●資本金14百万米ドル(当社100%)

第四次中期計画スタート!

当社グループでは、本年4月より3カ年の『第四次中期計画』をスタートいたしました。株主のみなさまに当社グループの今後の取組内容や経営目標をご理解いただくために、第四次中期計画の概要をご説明させていただきます。

第四次中期計画の策定にあたって

第三次中期計画では、「成長シナリオの再構築と実現」をテーマに、事業構造の改編を進めながら、収益力の強化と新規事業への参入に取り組みました。新たな事業育成などには課題を残しましたが、不採算事業の見直しや継続的なコストダウンにより、着実に収益力強化を推進できた3カ年でありました。



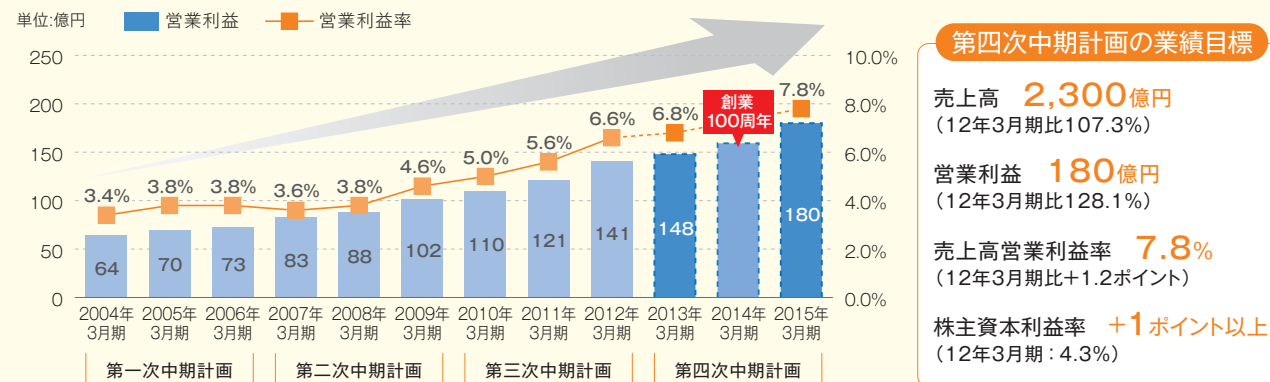
取締役社長 浦上 博史

このたび、第四次中期計画策定にあたりまして、食を通じて家庭の幸せによりお役に立てる企業になるために、中長期の構想として“ハウス食品がめざす将来の事業フレーム”を新たに定め、指標化することで、成長戦略の具現化を図ってまいります。

第四次中期計画では、国内の「香辛・調味加工食品事業」「健康食品事業」をコア事業、海外事業をコア育成事業として、海外展開を加速するとともに、それぞれが自立的・継続的に成長・拡大していくための最適な組織体制の構築に取り組んでまいります。併せて、開発力とコスト競争力ならびにCSRへの取組も継続して強化してまいります。

第四次中期計画期間中の2014年3月期には、創業100周年を迎えます。よりお客さまのお役に立てる企業、より良い会社に向けて、グループ一丸となって第四次中期計画を推進してまいります。

第四次中期計画の取組推進により、着実に収益向上をめざす



将来めざすべき事業フレームの考え方

- 国内食品企業トップクラスのROA（総資産営業利益率）の実現 ▶ ROA10%超をめざす
- 資本の有効活用による足腰の強い利益成長の実現 ▶ ROE（株主資本当期純利益率）10%を確保
- 海外事業へのシフトアップ ▶ 売上で20%超、営業利益で30%超という海外事業構成比をめざす

第四次中期計画の基本的な考え方

①国内2事業をコア事業、海外事業をコア育成事業とし、海外展開を加速

国内2事業の各々が成長ストーリーを描き、収益力を強化(2つのコア事業)

香辛・調味加工食品事業

- ブランド力の維持・強化
- 既存事業の深掘と新たな価値提供による事業成長の実現
- グループ企業を横断するコスト競争力を強化し、原材料上昇を吸収し、収益を拡大

健康食品事業

- 「C1000」「ウコンの力」に続く機能性飲料 + 機能性食品の拡大
- ダイレクト事業の仕切り直し



海外事業基盤強化と構築(コア育成事業)

- 米国(TOFU事業)** ●既存事業の更なる拡大と現地ニーズにあった新たな「TOFU」事業の確立
- 中国(カレー事業)** ●カレー事業の規模拡大と収益改善(業務用製品の拡大と内陸部攻略を加速)
- 東南アジア** ●タイ・ベトナムでの事業の立ち上げと基盤作りの推進
- レストラン事業** ●展開各国でのNo.1カレーレストランチェーンをめざす



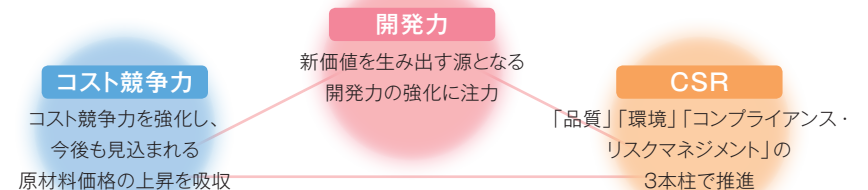
健全な事業投資を積極的に進め、新たな需要を創造する

②成長拡大していくための連結経営に最適な組織体制を構築

国内 成長性の確保・環境変化への迅速な対応をすべく事業組織・機能の統合

海外 「米国」「中国」「東南アジア」の3つのエリアに分け、事業推進母体である「エリアセンター」を設立

③「開発力」「コスト競争力」「CSR」への取組強化を継続



連結貸借対照表			単位:百万円
	当 期 (2012年3月31日現在)	前 期 (2011年3月31日現在)	
資産の部			
流動資産	110,165	99,644	
固定資産	129,927	129,166	
有形固定資産	53,553	53,860	
無形固定資産	2,467	4,562	
投資その他の資産	73,908	70,745	
資産合計	240,092	228,810	
負債の部			
流動負債	41,108	37,755	
固定負債	9,742	9,757	
負債合計	50,850	47,512	
純資産の部			
株主資本	185,205	179,841	
資本金	9,948	9,948	
資本剰余金	23,868	23,868	
利益剰余金	151,392	146,026	
自己株式	△ 4	△ 2	
その他の包括利益累計額	3,580	1,080	
その他有価証券評価差額金	5,531	2,836	
為替換算調整勘定	△ 1,950	△ 1,756	
少数株主持分	456	377	
純資産合計	189,242	181,298	
負債純資産合計	240,092	228,810	

連結損益計算書		単位:百万円
	当 期 (2011年 4月～ 2012年 3月)	前 期 (2010年 4月～ 2011年 3月)
売上高	214,317	216,713
売上原価	115,974	116,324
売上総利益	98,342	100,388
販売費及び一般管理費	84,289	88,319
営業利益	14,053	12,069
営業外収益	1,596	1,493
営業外費用	147	531
経常利益	15,502	13,031
特別利益	304	191
特別損失	2,920	3,641
税金等調整前当期純利益	12,886	9,581
法人税等	4,969	4,425
少数株主損失(△)	△ 11	△ 96
当期純利益	7,928	5,252

連結キャッシュ・フロー計算書		単位:百万円
	当 期 (2011年 4月～ 2012年 3月)	前 期 (2010年 4月～ 2011年 3月)
営業活動によるキャッシュ・フロー (うち減価償却費)	17,098 (5,356)	18,568 (5,704)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 19,069	△ 10,228
財務活動によるキャッシュ・フロー (うち配当金の支払額)	△ 2,836 (△ 2,567)	△ 6,466 (△ 2,411)
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 94	△ 353
現金及び現金同等物の増減額	△ 4,901	1,521
現金及び現金同等物の期首残高	46,091	44,570
現金及び現金同等物の期末残高	41,190	46,091

貸借対照表			単位:百万円
	当 期 (2012年3月31日現在)	前 期 (2011年3月31日現在)	
資産の部			
流動資産	94,901	87,376	
固定資産	147,641	143,076	
有形固定資産	30,339	30,322	
無形固定資産	1,186	1,826	
投資その他の資産	116,116	110,928	
資産合計	242,542	230,452	
負債の部			
流動負債	41,956	38,085	
固定負債	3,647	3,411	
負債合計	45,603	41,495	
純資産の部			
株主資本	191,344	186,025	
資本金	9,948	9,948	
資本剰余金	23,815	23,815	
利益剰余金	157,584	152,263	
自己株式	△ 4	△ 2	
評価・換算差額等	5,595	2,932	
その他有価証券評価差額金	5,595	2,932	
純資産合計	196,939	188,957	
負債純資産合計	242,542	230,452	

損益計算書			単位:百万円	
	当 期 (2011 年 4 月 ～ 2012 年 3 月)	前 期 (2010 年 4 月 ～ 2011 年 3 月)		
売上高	151,803	155,136		
売上原価	73,866	74,131		
売上総利益	77,937	81,005		
販売費及び一般管理費	66,241	67,469		
営業利益	11,696	13,536		
営業外収益	2,841	2,337		
営業外費用	202	337		
経常利益	14,334	15,536		
特別利益	282	134		
特別損失	2,414	3,327		
税引前当期純利益	12,203	12,344		
法人税等	4,319	4,236		
当期純利益	7,884	8,107		

新製品

ザ・ホテル・カレー

家庭では作れない、伝統あるホテルの レストランで味わうような本格感

炒め玉ねぎとじっくり煮込んだブイヨン、特製カレーパウダーのおいしさがとけ込んだ、艶のある“なめらかソース”が特徴のレトルトタイプのビーフカレーです。赤ワインを煮詰めた深いコクのある「芳潤ワイン仕立て」と焙煎したスパイスの豊かな香りを引き立たせた「芳香スパイス仕立て」の2つの味で、伝統あるホテルのレストランで食べるような、贅沢な味わいのカレーを手軽にお楽しみいただけます。



<芳潤ワイン仕立て> <芳香スパイス仕立て>

新製品

スパイスブレンドシュガー

ふりかけるだけで、手軽に風味をアレンジ

グラニュー糖に甘い香りのスパイスをブレンドしているので、ふりかけるだけの手軽さでトーストやヨーグルト、コーヒー、紅茶などの風味をアレンジできます。スパイスを使った新たな食シーンをお楽しみいただけます。



カカオシュガー キaramelシュガー シナモンシュガー バニラシュガー チャイ用ブレンドシュガー

バラエティ製品

C1000 1日分のビタミン 微炭酸タイプ

1日に必要なビタミン全13種類を 詰め込んだカロリーオフの 微炭酸飲料

1日に必要なビタミン全13種類を詰め込んだ「C1000 1日分のビタミン」から、スッキリと爽快に飲める微炭酸タイプが仲間入りしました。忙しく過ごされている方や、元氣やキレイを心がけている方の栄養補給と健康的な生活をサポートします。



株式会社デリカシェフ

(株)デリカシェフは、1985年にハウス食品(株)の取引先であるコンビニエンスストアに提供するそうざいを製造する会社として設立されました。埼玉県内および千葉県内の工場で、そうざい・焼成パン・デザートなどを24時間体制で製造しており、毎日30万食以上を、1日2回に分けて関東エリアのコンビニエンスストアに納品しています。

そうざい製品は鮮度が命です。徹底した品質・衛生管理のもと、新鮮でおいしい製品を、これからもお客さまのもとへお届けしてまいります。



ナポリタンソースを作っています



スパゲティ ナポリタン



焼きたてのカレーパン



カレーパンの中に、カレーを充填

会社概要

- 事業内容 そうざい・焼成パン・デザート等の製造
- 本社所在地 埼玉県上尾市

朝岡スパイス株式会社

ハウス食品グループのコア事業の一つである「スパイス事業」は、利用シーンに応じて使い分けていただける「ハウス」「ギャバン」「ニュークラウンエース」「クラウンエース」の4つのブランドで展開しております。

なかでも、高級スパイス製品の販売を担っているのが、2004年にハウス食品グループの一員となった朝岡スパイス(株)です。同社は、1981年の設立以来、「豊かさへの招待状」をモットーに、常に高品質なスパイスにこだわり、新しい味と香りを開発・提供しております。スパイス、ハーブ、調理用ペースト製品など約480アイテムを、こだわりの高品質ブランド「クラウンエース」として、百貨店および一部のスーパーなどで販売しております。

スパイスを通じて、豊かな食卓や楽しい暮らしの演出に貢献するため、一人でも多くのお客さまにスパイスの魅力をお届けすることをめざしてまいります。



クラウンエース



ニュークラウンエース

ギャバン

ハウス

会社概要

- 事業内容 香辛料の販売
- 本社所在地 東京都中央区

会社概要

(2012年3月31日現在)

- ◆創業年月日 1913年11月11日
- ◆設立年月日 1947年6月7日
- ◆資本金 9,948,323,523円
- ◆事業内容 食品製造加工ならびに販売、その他
- ◆従業員数 2,051名
- ◆所在地 大阪本社／〒577-8520
大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
TEL 06-6788-1231 (大代表)
東京本社／〒102-8560
東京都千代田区紀尾井町6番3号
TEL 03-3264-1231 (大代表)

役員

(2012年6月27日現在)

代表取締役会長	小 瀬 防	常務執行役員	野 村 孝 志 久 住 喜代晴 西 田 太
代表取締役社長	浦 上 博 史		
代表取締役専務執行役員	松 本 恵 司	執行役員	一 柳 和 文 青 山 元 竜 坂 原 弘 二 柴 原 章 小 池 敬 文 高 木 浩 谷 口 浩 村 田 竜比登
取締役専務執行役員	井 上 始 広 浦 康 勝		
取締役常務執行役員	藤 井 豊 明 工 東 正 彦 田 口 昌 男 藤 村 浩 史		
取締役	山 本 邦 克		
監査役	伊 藤 研 三 加 藤 智 一 由 本 泰 正 三 浦 勁 仁 瓶 眞 平		

グループ会社

(2012年3月31日現在)

連結子会社 (19社)

●国内会社 ●海外会社

持分法適用関連会社 (6社)

●国内会社 ●海外会社

- 株式会社デリカシェフ
- サンハウス食品株式会社
- ハウスウェルネスフーズ株式会社
- ハウス物流サービス株式会社
- 株式会社ハウス食品分析テクノサービス
- ハウスあいファクトリー株式会社
- サンサプライ株式会社
- ハイネット株式会社
- 朝岡スバイス株式会社
- ハウスビジネスパートナーズ株式会社
- ハウスフーズホールディング USA Inc.
- ハウスフーズアメリカ Corp.
- 上海ハウス食品有限会社
- 上海ハウスカレーココ壺番屋レストラン有限会社
- ハウス食品 (上海) 商貿有限会社
- ハウスフーズベトナム有限会社
- ハウスオソサファフーズ株式会社
- 台湾カレーハウスレストラン株式会社
- 韓国カレーハウス株式会社

- 株式会社ヴォークス・トレーディング
- 株式会社壺番屋
- サンヨー缶詰株式会社
- イチバンヤ USA Inc.
- 壺番屋香港有限会社
- 株式会社ジャワアグリテック

株式の状況

(2012年3月31日現在)

発行済株式総数 106,765,422株
発行可能株式総数 391,500,000株
株主総数 50,258名
1単元の株式数 100株

《2012年3月期配当金》

	1株当たり配当金
第2四半期末	13円 (前期比+2円)
期 末	15円 (前期比+4円)
年 間	28円 (前期比+6円)

大株主

(2012年3月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ハウス興産株式会社	12,585,616	11.79
株式会社HKL	6,000,000	5.62
株式会社三井住友銀行	3,668,027	3.44
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,035,600	2.84
公益財団法人浦上食品・食文化振興財団	2,872,200	2.69
浦上節子	2,728,569	2.56
味の素株式会社	2,693,543	2.52
日清食品ホールディングス株式会社	2,463,400	2.31
日本生命保険相互会社	2,306,010	2.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,076,200	1.94

(注)持株比率は、自己株式(2,928株)を控除して算出しております。

株主優待制度の変更と拡充のお知らせ

昨年6月に株主優待制度を見直し、本年度より毎年3月末および9月末現在の株主名簿に単元株(100株)以上かつ2回以上連続して記載された株主さまを対象に、6月・12月の年2回当社グループ製品詰め合わせをお贈りさせていただくことといたしました。

100株以上1,000株未満

[1,000円相当の詰合わせ]



1,000株以上

[3,000円相当の詰合わせ]

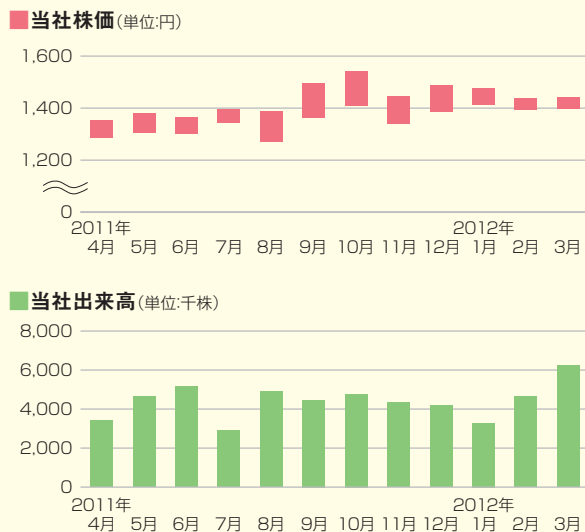


※写真は、2012年6月上旬にお送りさせていただきました株主優待製品です。

株主メモ

- **事業年度** 4月1日から翌年3月31日
- **中間配当制度** あり
- **定時株主総会** 毎年6月開催
- **株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関** 三井住友信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
- **株主名簿管理人事務取扱場所** 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
大阪市中央区北浜四丁目5番33号
〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- **【郵便物送付先】**
- **【電話照会先】** ☎ 0120-176-417
- **公告の方法** 電子公告により、当社ホームページ <http://housefoods.jp> に掲載して行います。
ただし、電子公告を行えない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
- **上場証券取引所** 東京・大阪
- **証券コード** 2810
- **ハウス食品株主さま窓口** ハウス食品株式会社 総務・法務部 総務課
〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
電話 (06) 6788-1214

株価・出来高の推移 〈東京証券取引所〉



ハウス食品株式会社

〒577-8520 大阪府東大阪市御厨栄町一丁目5番7号
電話 (06) 6788-1231 (代表)
<http://housefoods.jp>

○株式に関するお手続きについて

株式に関するお手続きのお問い合わせ先は、下記のとおりです。

証券会社の口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更

口座を開設されている
証券会社

- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

☎ 0120-176-417

特別口座に記録された株式

【お手続き、ご照会の内容】

【お問い合わせ先】

- 単元未満株式の買取請求
- 特別口座から証券口座への振替請求
- 届出住所・姓名などのご変更
- 配当金の受領方法・振込先のご変更
- 郵送物の発送と返戻に関するご照会
- 支払期間経過後の配当金に関するご照会
- 株式事務に関する一般的なお問い合わせ

三井住友信託銀行株式会社
証券代行部

☎ 0120-176-417

特別口座について

株券電子化実施(2009年1月5日)に際し、証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構(ほふり)に株券を預託されなかった株主さまのお名前、ご住所などのデータは当社が三井住友信託銀行に開設した「特別口座」に記録されております。



この報告書は、FSC®認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用して印刷しています。